



PTA 会員の皆様

平成 29 年 10 月 4 日

PTA 通知 第 29 号
PTA 会長 小町 剛
文化厚生委員長 木城 智美

第 2 回家庭教育学級

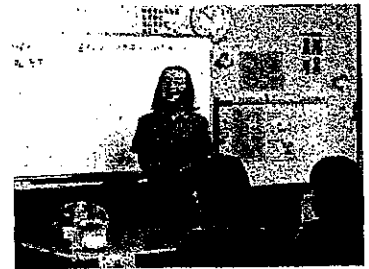
「脳力満開セミナー」～一生ものの心と身体をつくるために～についてのご報告

今年度、第 2 回家庭教育学級は、「育てよう笑顔の子ども～繋げよう健やかな心と身体」をテーマに、9 月 22 日(金)ランチルーム A にて講習会を開催し、32 名の皆様にご参加いただきました。

講師：天野秀昭（あまのひであき）先生

世田谷区に開設された「羽根木プレーパーク」の初代有給プレーワーカー。子ども達の成長に関して、遊びの重要性を提言。

その本質的な意義を社会に伝えるとともに活動の広がり尽力。NPO 法人プレーパークせたがや理事、NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会理事。元大正大学人間学部特命教授。



概要：1975 年に日本で初めての冒険遊び場の取り組みが世田谷区経堂で行われる。

1979 年に国連が国際児童年を宣言、子どもの権利宣言（「子どもが幸福な子ども時代を送り、必要な権利と自由を享受できるように」）が履行促進されることを目標とした。

その記念事業として、世田谷区が冒険遊び場を採択し、羽根木プレーパークが誕生した。

まず、小宮校長先生にご挨拶頂き、社会教育指導員の土橋先生と、今回の講習をして下さる天野先生をご紹介しました。

子どもにとって「遊育（遊び育つこと）」が大切なこと、脳科学や現代の社会について実体験も含め、分かりやすく解説していただきました。

〈消費者ではなく当事者になろう〉

「公園の砂場に糞が有る」と役所に電話が多く、業務に支障があり砂場ネットが必要になった。

→大人の善意により砂場ネットや禁止看板が設置され、遊びづらい公園が多くなっている。

どうしたら良かったのか？

気になった人が自分で片付けるなど、当事者になろうとする感覚を持つ。

→消費者ではなく子育ての当事者になろう。

〈教育と遊育〉

教育	教える→育てる	善悪、正誤、価値観を教える人が主体の言葉。
遊育	遊ぶ→育つ	「私／自分」がやってみたいと思う事を遊び始める、「私」が主体の言葉。 「私」にとって意味と価値がある言葉。

「教育」と「遊育」は対立しているわけではない。

教育する側が遊育の大切さをどこまで知っているか、大切にしているか。教育する側が遊育の価値をきちんと理解していれば、教育に取り入れることが出来る。

子どもの「やってみたい」「やりたい」ことが重要！本人がやりたいと思わない限り、本当のその子の遊びにはならない。本人がやりたくないことは「遊び」ではない。

例えば、「何度言ったらわかるの」と叱るが、何度言っても繰り返すなら「なんで繰り返しこんなことするのだから？」という視点を持つ。

〈システム化（都市化）する子育て〉

現代の子どもは塾・習い事・スポーツ少年団など、自分で選択出来る放課後や時間が少ない。

大人が子どもの時間の使い方を決めて子どもを組み込んでいる。そこには大人の評価がついてくる。子どもは常に評価を受け、大人からの目を気にしており、遊育が少ない環境にある。

子どもは大人の期待に応える事は出来るようになるが、大人に従う事が多く、「私の世界・私が生きている」という感覚が少なくなる。「やりなさい」という事はやれるが、自分が「やりたい事」を自分で見付けられない。

「私の世界」がないまま成長すると、思春期以降や社会に出てから評価の基準などがなくなると「私の喪失」が起こる。

〈能力ではなく脳力〉

- 教育—価値観（善悪） 20歳までに緩やかに発達していく・・・（前頭葉）
- 遊育—快・不快（情動） 命に直結する動物にとって重要な部分
幼少期頃までほぼ大人の脳と同じ
本能・感情の中核で動物脳とも言われる・・・（大脳辺縁系）

子どもにとって野外で遊ぶことは刺激が多い。

屋内は、エアコンなど身体に合わせて環境を整えるが、屋外では環境に身体が合わせる。

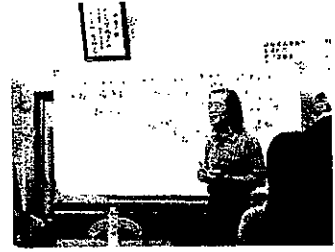
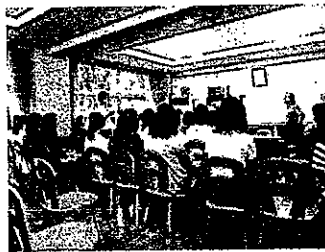
体温調節・・・（自律神経系）

菌に慣れる・・・（免疫系）

日光を浴びる・・・（ホルモン系/内分泌）

セロトニンやメラトニン（幸せ物質・眠りに関わる物質）

▽当日の様子



〈一生ものの心と身体〉

システム化（都市化）されている現代は、大人によって決められた価値観に合わせる子どもになり、情動の働きが抑えられてしまう。それはストレスに弱い、人目が気になる、自分で決められない等、不安定な（私の世界がない）まま成長していくことになる。

⇒「私の世界」を「私/自分」で作りに上げていく事が大事。それには「私の世界」を作る遊育を育む環境作りが必要。

（プレーパークは現代の子どもの遊び場がない、、、と親が子ども達の為に世代を継いで作り上げて来た遊び場。羽根木プレーパークはもうすぐ40年を迎える。）

脳力を活性化し情動が働くと、これから生きていく上で大切な脳の重要な部分が養われ、生きる為の力を養う事が出来る。

⇒「能力」ではなく、遊育で身につけられる「脳力」は一生ものである。

〈Q&A〉

Q: 子ども同士のケンカを止めてしまいがちですが、どのように対応すればよいのでしょうか？

A: 日頃からの親同士の関係づくりが重要。子どものケンカに親が入っても、良いことはない。

親同士の関係がスムーズであれば、大きな問題に発展することはない。

親は子どもの気持ちを受け止める。「痛かったね」と抱きしめてやれば良い。

〈天野先生の体験談としてお話がありました〉

砂場で子ども同士が遊び道具の取り合いになると「貸してって言いなさい」「それはあなたの物じゃないでしょう」と、大人達が声をかける。

その緊張感が嫌で遊び道具をたくさん持参して皆で使えるようにしたところ「それはあなたの物じゃない」という声がかげおこったので、「たくさんあるので皆で使いましょう」と話し、「取り合いがあっても良いと思う」と話したら、その場に居た全員の大人が「私もそう思っていた」と答えた。

取り合う事でコミュニケーション脳力を育む機会が生まれる。

他人の子なら笑って見ていられることも、自分の子だと難しい。

自分の子を他人に見てもらい、他人の子を自分が見るような関係があると良い。

他人の子は冷静に見ることができ、そこから自分の子をより理解出来ることがある。

自分の子以外にもかわいいと思える子がいると良い。

子どもは親だけではなく、信頼出来る大人がたくさんいると良い。

感想：アンケートより抜粋（回収率100%）

《一番心に残った言葉》

- ・「遊育」という言葉を初めて知りました。
- ・子どもにとっての「私の世界」
- ・「私を作る」自分が希望してかつ自らが行ったことからつくられるのだという事
- ・「教育」と「遊育」の違い
- ・自発的に「やりたい！」と思う気持ちを大切にすること
- ・何度も同じ行動を繰り返す子どもの行為に「何でだろう？」と思い、尊重することの大切さ
- ・遊び場を親が全てセッティングして遊びすら選んで与えてしまっていると感じ反省しました。
- ・私以外の世界は私以外に作れない。

- ・自分の世界（遊育）が失われつつあるのではないかと我が家の問題（親の問題）を考えさせられました。
- ・「自分の子は他の親に見てもらおう」だから親としてやっていける、そして他の子を余裕のある心でみよう。
- ・子どもに「いつまでやっているの？」とよく言っていますが、それには子どもなりに理由がある
- ・遊びでしか身に付かない“脳力”という言葉
- ・親の役目には限界がある。情動の発達で「私」が育つ
- ・遊育によってつくられる自分自身の世界を否定してはいけないという事。生きる力に繋がる
- ・何が楽しいかどうかは本人以外わからない・本当に好きなことをすると、「私」が見つかる

《講習会に参加した方からの感想》

- ・子どもの為に良いことと思ってしていたことが子の為になっているのかどうか改めて考えるきっかけになりました
- ・自分の子育てを悲しく感じたりもしました。もっと余裕を持ちたいです
- ・子どもに決まったルールの上を歩かせようとしていた自分に気づかされました。
- ・子ども達が「私」を作っていく過程を楽しみ、助けていける可能性があることを実感できて、本当に嬉しかった。
- ・やりたいことをやってほしい自分の世界をどんどん作ってほしいと思わされる講演会でした。
- ・外遊びの大切さは頭では分かっていたつもりでしたが、その理由を改めてお聞きし、勉強になりました。
- ・自分の子育てが「教育」寄りだと気づくことが出来ました。
- ・いずれ子育てをする娘にも伝えないといけないと思いました。
- ・外遊びの必要性を強く感じました。
- ・知らず知らず、子どもの世界を大人の価値観を狭めてしまっているのかもしれないと、気づくことが出来ました。
- ・これからはやりたいことをやりたいだけさせてあげたい。
- ・親が求める理想像を迫うような育児は考え直さねばと思いました。
- ・「私」の世界をたくさん作って、打たれ強い楽しい人生を送ってほしいです。
- ・脳の違いやこれから伸ばすべき力についてわかりやすく教えて下さり、とてもよいお話でした。
- ・この少人数で聞くにはもったいなく、もっと大きなホールで多人数でまたやってほしい。素晴らしい講演でした。

※ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

※アンケートは、紙面上の都合上、一部のみ掲載となりましたこと、ご了承ください。

おしらせ

- ・第8回家庭教育学級は、2017年11月5日(日)15:00～、花まる学習会・高濱正伸先生による講演会です。
- ・2018年1月27日(土)のもちつき大会に、プレーパークから遊びの出前「プレーカー」がやってきます。